

前期授業報告

- ・ お茶の水女子大学論
- ・ キャリア開発特論(基礎編)／総合コース

開催報告

- ・ IGLセミナー「世界と自分 つながりの中で生きる」
- ・ IGS・IGL共催国際シンポジウム「平和外交と女性の政治リーダーシップ」

IGLよりお知らせ

- ・ 令和7年度活動報告書が出来上がりました

お茶大女性リーダー育成塾:徽音塾

- ・ 2026年度前期活動報告
- ・ 後期活動予定

2026年度後期IGL関連授業

- ・ 後期集中講座 2026年度「アカデミック女性リーダーへの道(応用編)」
- ・ 後期授業

前期授業報告

お茶の水女子大学論

「お茶の水女子大学論」は、主に学部1年生を対象とするキャリアデザインプログラムの基幹科目です。授業では、お茶の水女子大学の歴史、学長講演、特別講演、卒業生によるロールモデル講演、企業と起業、コンピテンシーやキャリアデザインに関する講義を通して、大学で学ぶことの意義や、社会の中で自らの力を活かしていくためのさまざまな視点を学びます。

佐々木泰子学長の講演では、本学創設以来の歩みや卒業生の功績、女性が世界で活躍する社会の実現に向けた大学の取組が紹介され、多くの学生から「お茶大生であることを誇りに思う」との声が寄せられました。ロールモデル講演では、6名の卒業生から、多様な経験やその時々の選択、そこから得られた気づきが語られ、学生が自らの将来を考えるうえで貴重な機会となりました。また、鹿住倫世先生の「企業と起業」の講義では、就職やキャリア形成の基礎に加え、持続可能な社会に向けた課題解決と社会実装

の視点も学びました。

前期15回の授業を通して、学生はさまざまな講義やロールモデルの経験に触れながら視野を広げ、これからの大学生活や将来の進路について考えるきっかけを得ることができました。

文責:倉脇 雅子
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



キャリア開発特論(基礎編)／総合コース

2026年5月から7月にかけて、大学院生および学部生を対象とした共通科目「キャリア開発特論(基礎編)／総合コース」が開講されました。本科目は、社会で活躍する方々の経験から学び、自身のキャリア形成について体系的に考えることを目的とした集中講義です。

授業では、お茶の水女子大学の卒業生を含むアクセンチュア株式会社の社員の方を講師に迎え、「働くこと」「自分を知ること」「社会や仕事を知ること」などをテーマに、対話型・参加型の授業が展開されました。講義は対面とオンラインを組み合わせた形式で実施され、毎回のグループワークやリアクションペーパーを通して、受講生一人ひとりが自身のキャリアについて深く考えました。多様な背景を持つ社会人講師との交流は、学生たちが今後の進路やキャリアを考えるうえで、貴重な手がかりを得る機会となりました。

文責:張 潔
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

IGLセミナー「世界と自分 つながりの中で生きる」



工藤律子氏に、「世界と自分 つながりの中で生きる」と題したご講演をいただき、30年を超える取材活動をつうじて知ることとなった子どもたち、大人たちについて、多くの写真とともにご紹介いただきました。

工藤氏はまず、大学在学中からフィールドワークを重ね、貧困のなかにあっても心豊かに生きている人々のことを伝えたいという思いからジャーナリストという職業選択に至った経緯を披露されました。続いて路上生活を余儀なくされた「ストリートチルドレン」たちの権利が剥奪され、命が脅かされている状況を解説いただき、気候変動による農業危機や麻薬犯罪組織のグローバル化などで貧困層の子どもらが追い詰められ犯罪に走るか移民か、という二者択一しかなかったホンジュラスの若者がメキシコに移住した例が示されました。また、新自由主義的グローバル化と格差拡大がすすむなか、メキシコのサパティスタ民族解放軍の先住民共同体独自の連帯・自治組織の歩みの例を挙げられた他方で、スペインにおける民主主義の実践例として、市民運動「15M」に関する社会的連帯経済について詳説いただき、経済成長を目指しつつも誰もが安心して暮らせる社会に向けての好例を示していただきました。種々の具体例を紐解かれるなかで、お金ではなく人と人との「つながり」こそが人生を豊かにすると熱く語られ、一人ひとりが一歩を踏み出す大切さを説かれました。



質疑応答では、若者らについての詳細を問われた際、デモに行くなど自ら参加する体験を子ども時代から積み重ねているスペインの人々に改めて言及され、皆が連帯することでこそ豊かな未来を築けるという希望に満ちたメッセージでご講演は締めくくられました。終了後のアンケートでは、「勇気をいただいた」「多くの学びを得た」「ぜひ続編をお伺いしたい」と感想が寄せられるなど、具体的事例と力強い言葉の数々に参加者全員が背中を押された、意義深いひとときを分かち合いました。

文責：洲崎 圭子（グローバルリーダーシップ研究所 研究協力員）

IGS・IGL共催国際シンポジウム
「平和外交と女性の政治リーダーシップ」



2026年7月30日、ジェンダー研究所主催、グローバルリーダーシップ研究所共催による国際シンポジウム「平和外交と女性の政治リーダーシップ」が開催されました。

国際社会で活躍するビナイファー・ノワロージー (Binaifer Nowrojee) 氏、牧山ひろえ氏、メルバ・プリーア (Melba Prialé) 氏、三浦まり氏が登壇し、申琪榮氏の進行のもと、女性の政治参画とリーダーシップが平和構築や外交に果たす役割について、多角的な議論が行われました。国連安保理決議1325号を起点とする「女性・平和・安全保障 (WPS) アジェンダ」を踏まえ、紛争時のみならず、平時から政策・意思決定の場に多様な声を反映することの重要性が共有されました。

会場には多くの参加者が集まり、持続可能な平和と包摂的な民主主義の実現に向けた理解を深める貴重な機会となりました。

文責：張 潔
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

IGLよりお知らせ

令和7年度活動報告書が
出来上がりました



令和7年度活動報告書が出来上がりました。IGL事務室前にて配布いたしております。

刊行物はWebサイトにて公開しています



- 【目次】
- ・グローバルリーダーシップ研究所 概要
 - ・研究プロジェクト・部門における活動
 - ・シンポジウム
 - ・セミナー・国際交流イベント・学生交流イベント
 - ・お茶の水女子大学創立150周年記念 大学経営ビジョナリー育成プロジェクト
 - ・女性リーダー育成教育
 - ・女性リーダー育成事業
 - ・行政との協力・連携
 - ・学術成果の発信
 - ・資料公開

2026年度前期活動報告

今年度の徽音塾は8月時点で6講座が終了しました。各講座とも塾生からの積極的な発言や質疑応答が途切れず、意欲的に参加する塾生の姿が多く見られたことが印象的でした。

2026年5～8月開催の講座

(E) 女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座、(P) プロフェッショナル講座、(B) ビジネス講座

2026年5～8月 開講科目		
B	5/16・5/30	現代マーケティングー顧客の心を動かす体験をデザインするー（高山 美和）
E	5/23	人的資本経営のトレンドと主要トピックスー人事領域での生成AI活用を含めてー（大和田 順子）
P	6/20	医薬化学研究から殺鼠剤開発へ（棚谷 綾）
E	7/11	分断の時代を越える女性のリーダーシップーウェルビーイングを軸とした社会変革の可能性ー（浅井 明紀子）
B	7/18・7/25	新規事業開発・起業のためのビジネスモデル構築方法/現場の気づきを価値に変えて、事業を持続化する方法とは（鹿住 倫世・戸田 江里子）
P	8/28	組織における女性リーダー育成ー日本企業の課題ー（寺村 絵里子）

後期活動予定

徽音塾は企業等で指導的立場に就くことを目指す女性、また多様な分野・立場でリーダーシップを発揮することを目指す女性を広く応援し、可能性を開花させるための学びとネットワーク構築の場を提供しています。詳細と各講座申込みは、徽音塾Webサイトをご覧ください。

※「きいんじゅく」で検索も可能です。



Webサイト



X

2026年度後期開催概要

時間：13:30-16:40、13:30-15:00
（すべて土曜日）

形式：対面・オンライン講座
※1科目から受講いただけます
※最新情報はWebサイト、Xをご覧ください

2026年9月～12月開催の講座

(E) 女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座、(P) プロフェッショナル講座、(B) ビジネス講座

2026年9～12月 開講科目		
B	9/5・9/19	女性リーダーのためのコーチング講座（重次 泰子）
P	9/26	イノベーションの創出ー建築デザインを通して考えるー（後藤 武）
B	10/17・10/24	ビジネスリーダーのための会計入門（成岡 浩一）
E	11/14	企業理念を起点に企業ブランドを創るー今なぜパーパスなのかー（坂本 香織）
E	12/5	しなやかなリーダーシップを考えるーキャリア迷子から抜け出すヒントー（境 麻千子）
E	12/12・12/19	追加講座「人は人から学ぶ。一人じゃない。」～自分らしいキャリアとリーダーシップを描く～（井村 佐をり）

12月12日、12月19日には、新たに「女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座」を開講します。対面・オンライン方式で、スモールグループでの活動を取り入れた内容で準備中です。女性リーダー育成や女性のキャリア形成に関心のある方のご受講を歓迎します。

さらに、ランチを兼ねて塾生同士のネットワーク構築をはかる「オンライン・ネットワーキングランチ」を10月17日（土）と12月12日（土）に予定しています。今後も塾生と交流をはかりながら、引き続き女性の学びに寄与する場を構築していきます。

後期集中講座 2026年度「アカデミック女性リーダーへの道（応用編）」

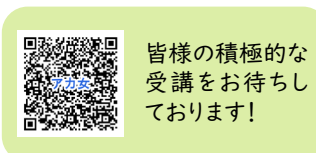
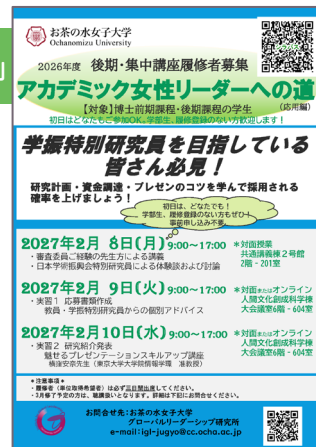
本授業は、博士前期・後期課程の大学院生を対象に、日本学術振興会特別研究員をはじめとする競争的研究費の獲得に向け、申請書作成とプレゼンテーションの実践力を高めることを目的とした集中講義です。2027年2月8日（月）から10日（水）までの3日間にわたり開講します。

第1日目は、審査委員の経験をもつ教員が、審査の視点や申請書作成のポイントについて講義を行うほか、現役の日本学術振興会特別研究員による体験談および質疑応答を行います。この日のみ、本学の学生・大学院生および卒業・修了生も参加できます。第2日目は、教員ならびに学振特別研究員による指導のもと、応募申請書（仮作成）の作成

実習を行います。第3日目は、横窪安奈先生（東京大学大学院情報学環准教授）による「魅せるプレゼンテーション スキルアップ講座」を開講し、各自の研究を紹介するプレゼンテーション実習に取り組みます。

学振特別研究員への応募や外部資金獲得を目指す学生が、申請書作成と研究発表に必要な考え方や方法を身につける授業です。詳細はIGL研究所Webサイトをご確認ください。皆さまの積極的な受講をお待ちしています。

文責：倉脇 雅子
(グローバルリーダーシップ研究所
特任講師)



後期授業

〔CDP:キャリアデザインプログラム基幹科目、T-COCOA:「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクトの授業〕

授業名	開講時期	内容
女性のキャリアと経済 【26N0092】学部【CDP】	火曜 9・10限	変化の激しい現在、女性社会人がキャリア形成の中で直面する課題のうち、経済・労働・テクノロジーの分野を中心に、論理的思考のリテラシーを学際的に議論する授業です。
NEW メディアと情報リテラシー 【26N3097】学部【CDP】	水曜 7・8限	本講義では、情報過多社会において主体的に情報を読み解き、発信するために必要なメディア情報リテラシーと、「聞く力」「書く力」を養います。情報の真偽を確認する方法やメディア・アルゴリズムの仕組み、クリティカルシンキングについて実践的に学ぶとともに、インタビューの実施や記事の輪読を通して、相手から考えを引き出す質問の方法と、情報や考えを的確に伝える文章表現を身につけます。 
女性のキャリアと法制度 【26N0094】学部【CDP】	木曜 5・6限	本講義では、女性の労働と法制度、地域や人とのつながり、文化的な営みを含む暮らしのあり方などを、ウェルビーイングの視点から多角的に学び、自分自身と社会との関わりをふまえ、広い視野からキャリアを構想する力を養います。
ダイバーシティ論 【26N0095】学部【CDP】	金曜 3・4限	特に組織におけるダイバーシティに焦点を当てながら女性のリーダーシップについても学びます。ダイバーシティを推し進めるにはどのような「仕組み」が有効なのか、アクティブ・ラーニングやインタラクティブな授業を通じて履修生と一緒に考えます。
NEW 総合コース (NPO法人J-Win) 【26A0372】学部【CDP】	不定期	本授業は、キャリアについて主体的に考える力を育て、インターンシップ準備や業界研究に役立つ内容です。企業の女性役員による対面授業に加え、企業訪問やワークショップを行います。これらを通して多様なキャリア理解や価値観・強みを発見し、社会で活躍する視点を習得します。 
NEW キャリア開発特論(応用編) 【26S2007】大学院 【T-COCOA】		
グローバル・リーダーシップ実習Ⅰ 【26N3087】学部【CDP】	不定期	授業で学んだリーダーシップスキルを実践できるように、大学の内外で提供される様々な機会を活用し、社会やコミュニティとのつながりのなかで国連サミットが掲げるSDGsのような現代的諸課題を意識しながら自らのテーマを見出し、自己の成長にとどまることのない、より広い意味でのリーダーシップを探究します。グローバル・リーダーシップ実習Ⅱではイタリアに実習に行きます。
グローバル・リーダーシップ実習Ⅱ 【26N3088】学部【CDP】		

【発行元】 国立大学法人お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 人間文化創成科学研究科棟506室
Tel: 03 (5978) 5520 E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp
URL: <https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/>